

4 国語・算数の研究

【内容①単元のゴールの具体化】

※ラーニングマウンテンの活用

☆言語活動の具体化

- ・「誰に」「どのように」の共有

ラーニングマウンテン  
～まじりゆめとあそびをもちょうへいねん「くじらぐも」

たんげんのなまえ【くじらぐも】ぜん(11)しかん

ふんにかいていないようすもよみ、せんせいとおうちのひとにげきはっぴようしよう。

☆指導目標の具体化

- ・子どもが“どんな力をつけていくか”をわかりやすく

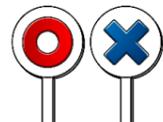
【わかること・できること】	【考えること・表すこと】	【工夫して学ぼうとすること】
ア 音読のレベルを高める A スラスラ読む B ハキハキ読む C 読もうとしている	イ 松井さんの人物像を考える A 根きよ+理由 B 根きよ+文章から探す C 人物像を考える	ウ ふしぎに思ったことへの自分の考えを書く A 根きよ+理由 B 根きよを文章から探す C ふしぎなところを見つける

【内容②意図的なしかけ】

☆教材・発問・場の工夫

～導入～

- ・教材との出合わせ方
  - ・考えたくなる発問
- 例：クイズ形式 例：「どっち？」で尋ねる



～展開、終末～

- ・疑問・考えを広げる・交流場面での自己選択



【内容③ステージごとの振り返り】

※ラーニングマウンテンの活用

☆各ステージの終末に振り返り

- ・たしかめ欄を活用して、指導目標の達成度を自己評価

【内容④読みのアイテム(学習用語)の蓄積】

※ラーニングマウンテンの活用

☆学習用語を次の単元に生かす

【これまでに手に入れた【物語】の読みのアイテム】

場面、題名、作者、登場人物、あらすじ、会話文・地の文

柱1 必要感のある導入

柱2 子ども達をつなげ、「～したい」がある工夫

柱1 自己を見つめる振り返り

【内容① 必要感のある学びをつくる単元計画】

☆ラーニングマウンテンによる教師の単元の見通し

- ・意図的な授業形態
- ・働かせる数学的な見方・考え方を把握
- ・既習学習とのつながりの把握



【内容② 「問い」をもたせ課題意識を生ませる工夫】

☆問題提示を工夫し、ズレを生み出す

- ・数を隠して提示
- ・分類あてゲームをする
- ・基準を変える
- ・わざと間違えて提示
- ・きまりが見えるように提示 など

【内容① みんなで学びを創る土台作り】

☆授業イメージの転換

- ・つぶやきを大切に
- ・誤答にも光を当てる
- ・与えすぎない
- ・掲示物による授業イメージの可視化



【内容② 児童の意欲を引き出す工夫】

☆発問の工夫

- ・問い返し発問

☆教材教具の工夫

- ・ICT や具体物の活用
- ・発展問題の提示

【内容① 自己決定できるまとめの設定】

☆着目ポイントの意識化

- ・板書の工夫
- ・ノートの工夫
- ・学びの足跡の蓄積

【内容② 自己選択できる定着問題】

☆問題を選択できる場の設定

- ・問題数の精選
- ・発展問題の活用

☆時間の確保